

コロナ禍における 文京区地域公益ネットワークの取り組み

文京区社会福祉協議会
地域福祉推進係
地域福祉コーディネーター兼生活支援コーディネーター
本多 桜子

文京区と地域福祉コーディネーターについて

歴史

- ・江戸時代に武家屋敷が多くあった
- ・明治時代に文人・学者・政治家などが多く集まった

特徴

- ・出版・印刷の企業、大規模病院、教育機関が多い
- ・人口増加（マンションに若い世代が多く入居）
- ・高所得層が多いが、低所得層も増えている



H24 1名 H26 1名 H27 2名 H28 4名 H31 2名



面積	11,290㎡
総人口	216,121人
高齢者人口	42,643人
要支援認定者数	1,776人
要介護認定者数	5,847人
町会・自治会	155団体
民生委員・児童委員	146人
高齢者クラブ	3,885人
高齢化率	19.7%
要支援認定率	4.2%
要介護認定率	13.7%

地域福祉コーディネーターとは

住民等からの相談を受け、地域の中へ入り、地域の人々や関係機関と協力して課題を明らかにし、解決の方向に向けた支援をする。また、住民主体の地域活動に対する立ち上げや運営支援を行う中で、住民がより自主的に活動を発展できるような支援を行う。

文京区内の全社会福祉法人で取組む
「夢の本箱」プロジェクト

コロナ禍の取組み
「学校休校時の食支援プロジェクト」



設立からの経緯

平成28年

- 平成28年8月 ①地域公益活動に関する情報交換
- 平成28年12月 ①地域福祉コーディネーターが感じている地域ニーズ
②エリアごとに情報交換
- 平成29年3月 ①小林良二氏による「地域公益活動の取組み」
②2法人による実践報告

平成29年

- 平成29年9月-10月 アンケート調査の実施（23法人29事業所）
- 平成29年11月 ①アンケート結果の報告
②事業の検討

- 平成30年3月 ①夢の本箱プロジェクト検討

平成30年

- 6月 本箱設置開始 → 夢の本箱1年目
- 平成30年7月 総会（夢の本箱プロジェクトの検討/組織体制の見直し/
今年度の実施内容）
- 平成30年9月 企画・協働推進部会（夢の本箱の検討/企業との連携）
- 平成30年11月 企画・協働推進部会（文京つながるメッセへの出店）
- 平成30年11月 広報戦略部会（HP作成/リーフレットの改定）

令和元年～2年

夢の本箱 2年目 夢の本箱 3年目

- 令和元年8月
新企画
「おでかけこども食堂」
既存企画
「こども食堂支援助成」
「各社会福祉法人企画」
- 令和元年12月
新企画
「みんなで駄菓子屋さん」
- 令和2年3月
HP開始
- 令和2年3月～6月
コロナ禍の取り組み
「休校時の食支援」
Facebook開始

設立経緯

アンケート調査から出した地域公益活動の条件

文京区内にある社会福祉法人（28事業所）に調査を実施。

【意見】 ※ 地域の課題を解決する以外にも…

- ◆ 社会福祉法人は地域の人に知られていない
→ 社会福祉法人を知ってもらえる機会になるもの
地域の皆さんと取組めるもの
- ◆ 人材が不足している、人が出せない
→ 人手がかからない（専門性を活かせるもの）
やることが明確化していること
- ◆ 資金の確保が難しい
→ 使いみちが明確化されているもの

夢の本箱プロジェクト（仕組み）

「夢の本箱」では
子どもたちが笑顔で夏休みを過ごせるようにしたい

そのために！

夏休み期間に子どもたちへ“食”や“居場所”を提供できるようにする

社会福祉法人に本を寄付してもらうための
「夢の本箱」を設置

※本の寄付を通じて、区民の方々に社会福祉法人へ足を運んでもらう

個人や会社等で読み終えた本

本を集める

株式会社ブギと連携

子どもの食事代



ご自宅や会社等でご不要になった本



寄付してもらう



① 買い取ってもらう



② 寄付



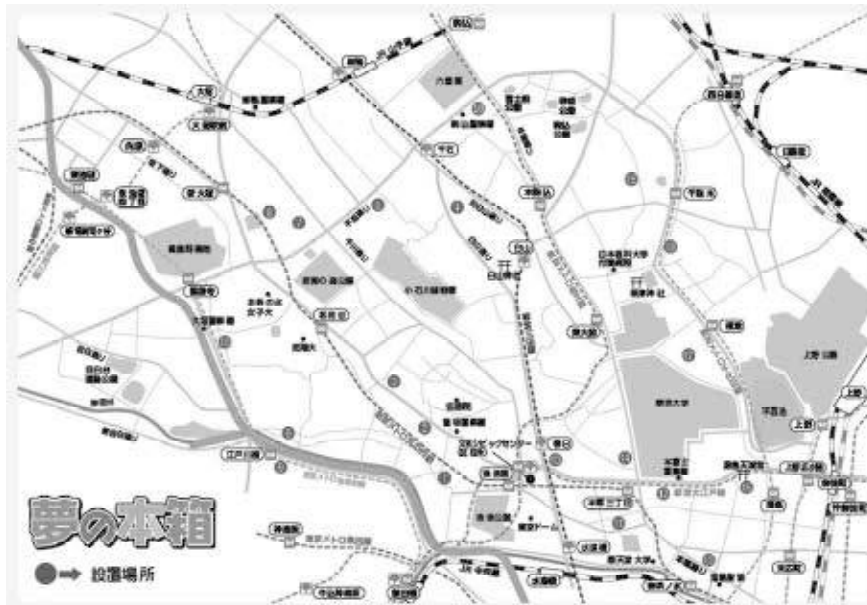
再販で得た収益は、子ども食堂にて食事代にあてる

子育て拠点等へ寄付

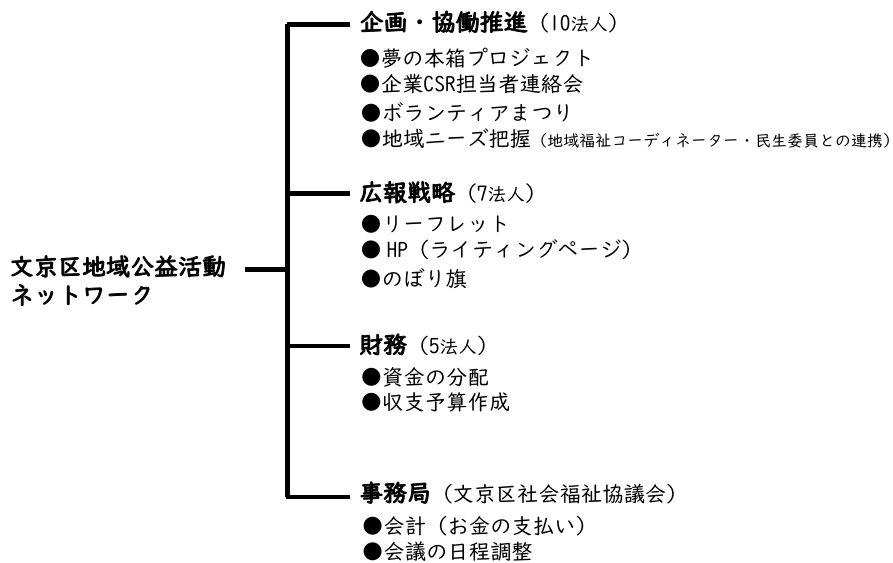


ブギのCSR活動を通じて子どもの本を子育て拠点に寄付

夢の本箱プロジェクト（本箱設置場所）



組織体制



本の寄付実績

平成30年度 総売り上げ	4,241冊	195,714円
令和元年度 総売り上げ※	4,004冊	239,947円
令和2年 2月	251冊	22,520円
令和2年 3月	346冊	25,633円
令和2年 4・5月※※	251冊	7,869円

目次

文京区内の全社会福祉法人で取組む
「夢の本箱」プロジェクト

コロナ禍の取組み
「学校休校時の食支援プロジェクト」

2020年3月~6月学校休校時の食支援プロジェクト 活動内容

2020.6.24



【第1段階】ヒアリング

【第2段階】①場づくりの支援

- 社協がつながっている個別支援
- 寄付をお届けの際にヒアリング

- おもてなし食堂特別版@見樹院
- サンカクシャ@本郷拠点

- 第1回3/12 カフェBUNBUNのパン〈武蔵野会〉10食
- 第2回3/18 えんむすびのからあげ〈槐の会〉10食
- 第3回3/26 やまどりのパン〈山鳥の会〉10食
- 第1回3/25 ふるさと学舎のパン〈ふるさと学舎〉10食
- 第2回3/28 やまどりのパン〈山鳥の会〉10食



②お弁当の配達 〈えんむすび〉主任児童委員・学習支援ボラ団体が配達

3月 29食	4月 62食	5月 42食	6月 29食
--------	--------	--------	--------

〈武蔵野会〉
冷凍パン30個
〈三幸福祉会〉
駄菓子詰め合わせ50人分

【第3段階】①常設型の場所〈喫茶店等〉で食事提供



3月 合計 57食	4月 合計 101食	5月 合計 164食	6月 合計 136食
<input type="checkbox"/> 動坂こども食堂 41食	<input type="checkbox"/> 41食	<input type="checkbox"/> 41食	<input type="checkbox"/> 24食
<input type="checkbox"/> 浩吉カフェ 10食	<input type="checkbox"/> 60食	<input type="checkbox"/> 107食	<input type="checkbox"/> 86食
<input type="checkbox"/> KONA 6食		<input type="checkbox"/> 16食	<input type="checkbox"/> 26食

②テイクアウト型こども食堂の支援 〈キッチンデリ小島〉

<input type="checkbox"/> 20食中配達3家庭×月2回	<input type="checkbox"/> 20食中配達3家庭×月2回
--	--

【第1弾】ヒアリング

【社協がつながっている個別支援×
リアンさんからのご寄付冷凍パンの配布】

【ご寄付】

3/5(木)武蔵野会さんから冷凍パン30個を頂きました。
3/13(金)三幸福社会さんから駄菓子詰め合わせ約50人分頂きました。

【第2弾】お弁当の配達、場づくりの支援 約11万円(約200食)

①【えんむすび】

・お弁当
・配達は、主任児童委員さん
3月 29食 25,650円
4月 62食 42,650円
5月 42食 29,400円
6月 食 円

②【D家×おもてなし食堂】@見樹院

・1回目リアン文京さんのパン(配達)
2回目えんむすびさんのからあげ(引取)
3回目やまどりさんのパン(配達)
・25,500円
・内訳
650円×10食×3回+会場費(2000円×3回)

③【サンカクシャ×やまどり・ふるさと学舎】

・パン(水)ふるさと学舎(土)やまどり
・サンカクシャが引き取り
・12,000円
・内訳:500円×4食×6日

【第3弾】常設型の場所(喫茶店等)で食事提供 約26万円(350食)

④【動坂子ども食堂】

・お弁当の配達(夕食)
・食堂で定食プレート提供(昼食)
・内訳:900円
3月 41食 36,900円
4月 41食 36,900円
5月 41食 36,900円
6月

⑤【浩吉カフェ】

・食堂で定食プレートお弁当提供(昼食)
・内訳:750円
3月 10食 6,900円
4月 60食 43,800円
5月 107食 79,300円
6月

⑥【コナ】

・定食プレート提供(昼食)
・内訳:700円
3月 6食 4,500円
4月
5月 16食 11,200円
6月

⑦【キッチンデリ小島】

・子ども食堂お弁当配達
・シングル家庭を主に対象
・御用聞きに支払い
5月 3,700円
6月

2020年3月~6月学校休校時の食支援プロジェクト 活動まとめ

▶ かかった費用
総額37万
(第2段11万、第3段26万)
▶ (参考)昨年度の収入
夢の本箱24万、寄付70万

費用・財源の拡大

利用者の拡大

▶ 現在21世帯を対象
▶ 大人26人、子ども46人
合計72人を支援
▶ シングル家庭17家庭、
生活困窮は3、要支援4家庭。

夢の本箱
プロジェクト

関係者の拡大

▶ 公的な機関からの依頼をうけ、
インフォーマルな食事や学習支援に
つながっている

食事数の拡大

▶ 食事数:月ごとに増加
(3月136食、4月163食、5月206食、6月136食)
▶ 食事の届け方の変化
前半:カフェ利用が多い
後半:テイクアウト型が多い

関係機関		食事を届けてくれる人	
関わっている機関・支援者[集計] ※複数選択		提供方法[集計] ※複数選択	
教育センター	5	学習支援団体	4
サンカクシャ	2	主任児童委員	4
学習支援なごみ	4	テイクアウト	5
主任児童委員	5	御用聞き	4
生活福祉課	1	社協コーディネーター	2
子ども家庭支援センター	6	サンカクシャ	1
障害福祉課	1	カフェ利用	4
		近隣ボランティア	1

東村山市内社会福祉法人連絡会 お昼ご飯お届け事業 実施報告

1. 実施期間：令和2年5月11日（月）～6月9日（火）

2. 参加法人

○お弁当作り（容器や箸の手配、弁当へのメニュー添付含む）

- ・事前アンケートにて、本事業への参加可能な回答のあった7法人（12施設）中、下記2法人（3施設）へ依頼。

- ・村山苑（つぼみ保育園、ふじみ保育園）
- ・小さい共同体（飛翔クラブ）

○受付窓口、広報、お弁当の配達、会計等事業に関わる事務全般、お弁当実費（300円）と利用者負担（100円）の差額負担

- ・東村山市社会福祉協議会（事務局含む）

3. 周知・広報

○周知期間 令和2年5月1日～
（申込みが全日定員に達した5/26時点で受付終了の旨HP掲載）

○周知方法

- ・ひとり親家庭や困窮家庭への周知、情報提供（市生活福祉課）
- ・社協ホームページ掲載、広報チラシの配置（社協窓口）

○依頼先 東村山市役所健康福祉部生活福祉課

4. 実施の流れ

①利用希望者よりメールにて利用希望の受付（事務局）

- ・保護者名、住所、利用するお子様の数・名前・学校・学年、利用希望日と希望数

②先着順に利用者を割り振り、お弁当作りを依頼した2法人に実数を依頼（事務局）

③配達職員の調整（社会福祉協議会）

- ・子ども一人での受け取りの際に不安にならないよう、玄関先への訪問は職員2名を基本とし、法人連絡会のビブスを着用。

④お弁当受け取り（各事業所）、利用者への配達／代金の預かり、領収証のお渡し。

5. 利用実数

利用者数 27人（うち小学生16人、中学生11人）／延べ食数 385食

○内訳

5月（5/11～5/29 平日15日間） 275食

6月（6/1～6/9 平日7日間） 110食

- ・ 一日毎の利用実数は別紙参照
- ・ 上記に含まれない急なキャンセル等によるお弁当（5食）は社協職員が買い取る

○一日あたりの受付数：20食（平日のみ、先着制、利用者負担1食100円）

- ・ 調理を担当する事業所が職員の新型コロナ感染等による閉鎖等の事態になったとしても、連絡会内で調整・対応が可能な食数に絞って実施。
- ・ 開始当初の1週間は、広報開始から受付、お弁当を作る施設への依頼までに時間的な余裕をとれなかったため、食数を更に絞って15食の受付とした。

○市内小学校は6/8より給食開始となったため、6月2週目以降は中学生のみ利用対象とした。

6. 会計報告

総費用	@300円×390食=117,000円
利用者負担額	@100円×385食=38,500円
職員負担額	@300円×5食=1,500円
社協負担額	@200円×385食=77,000円

7. その他

○寄付

- ・ パーラーマイニチ東村山店様よりお菓子（景品）の寄付
→お弁当と一緒に配付

<お弁当、配達の様子>

～ふじみ保育園（村山苑）～



～ふじみ保育園・5/19のメニュー～

- ・ミルクパン
- ・魚のパン粉焼き
- ・マカロニサラダ
- ・アスパラ
- ・トマト

～つぼみ保育園（村山苑）～



～つぼみ保育園・5/21のメニュー～

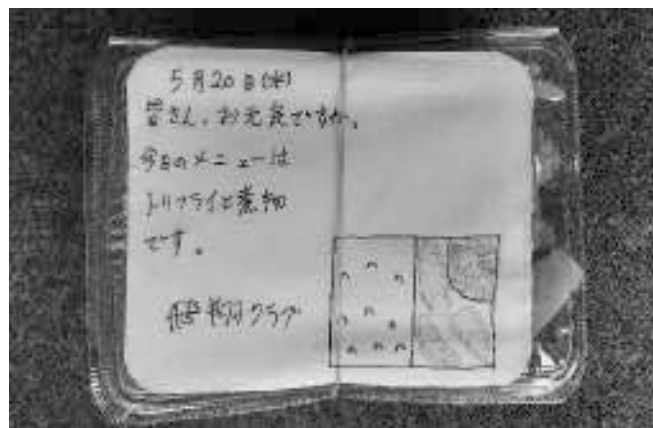
- ・ごはん
- ・チーズハンバーグ
- ・切り干し大根の煮物
- ・いんげんのソテー

～飛翔クラブ（小さい共同体）～



～飛翔クラブ・5/20のメニュー～

- ・ごはん
- ・トリフライ
- ・煮物



毎食、利用者さんによる手書きのメニューを付けてくださいました。



学校給食がお休みでお困りのご家庭に



お昼ご飯を お届けします！



先着
20食

1食
100円

東村山市内
限定

東村山市内社会福祉法人連絡会では、新型コロナウイルス感染症に対する支援活動として、給食がなくなってお困りの小中学生がいるご家庭に、お昼ご飯（お弁当）をお届けする活動を始めます。先着20食となります。ぜひご利用ください。

対象

東村山市内に住所があり、給食がなくなって困っているご家庭の小中学生（理由は問いません）

期間

新型コロナウイルス感染症予防のために、東村山市の公立小中学校が休校にされている期間（平日のみ／5月11日以降のご利用から申込み受付いたします）

料金

1食につき 100円

詳細、お申し込みは、裏面をご参照ください。

東社連
東村山市内
社会福祉
法人連絡会

- ◇ 社会福祉法人は、住民の福祉問題を解決することを使命とする、民間の非営利団体です。
- ◇ 東村山市内社会福祉法人連絡会は、市内で社会福祉事業を実施している27の社会福祉法人で構成され、市民の福祉向上に寄与することを目指して活動しています。東村山市社会福祉協議会に事務局を置いています。
- ◇ この活動は、新型コロナウイルス感染症に対する臨時的支援活動として取り組むものです。市内の社会福祉施設が実費でお弁当を提供し、料金との差額を社会福祉法人が負担する地域貢献活動です。

東村山市内社会福祉法人連絡会 お昼ご飯（お弁当）お届け 事業

申込方法

メールでの申込み受付になります



① QRコードを利用可能な方

右記QRコードを読み取り、表示画面下の申込み方法に沿ってお進みください。
メールソフトが立ち上がります。必要事項（③参照）を入力の上、送信ください。

② QRコードを利用できない場合、もしくは読み込んでもメールソフトが立ち上がらない場合

直接下記アドレスまで必要事項（③参照）をご入力の上、お申込みください。
e-mail : houjin@hm-shakyo.or.jp

③ 必要事項

- ・保護者のお名前
- ・住所

※お届け先が上記住所以外の場合、お届け先の名称と住所を別途入力してください

- ・お届け時の連絡先（電話・携帯）
- ・お弁当が必要なお子様のお名前
- ・お子様の通学先（小中学校名、学年）

ご記入いただいた個人情報はお昼ご飯（お弁当）お届け事業以外で使用したり、第三者に提供したりすることはありません。

④ 申込到着後、事務局より折り返しメールにて、「ID番号」と「エントリーフォーム」をご案内します

- ・ID番号にてエントリーの上、利用希望日等の申込みへお進みください。
 - ・先着順に事務局にて受付け、確定したご利用日とおおよその配達時刻を事務局よりメールにてご連絡します。このメールが届いた時点で、利用日が確定となります。
- なお、ご希望に添えないこともございますので、その場合はご容赦ください。

注意事項

- ◇ お弁当は、お届け時から1時間以内に食べきってください。
- ◇ アレルギー食には対応していません。
- ◇ 予約を変更する場合は、お届け日の7日前までに事務局までご連絡ください。（営業日にご注意ください）
- ◇ お届けの際は、どなたかが直接受け取れるようにしてください。再配達はできません。
- ◇ お弁当の代金は配達時にお支払いください。
- ◇ 申し訳ありませんが、お弁当を作る施設やメニューをお選びいただくことはできません。
- ◇ お弁当を作る施設に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合など、急にお弁当をお届けできなくなる場合がございます。

上記について了承したうえで、お申込みください。

問合せ先
(事務局)

東村山市社会福祉協議会 法人運営係 〒189-0022 東村山市野口町1-25-15
電話：042-394-6333 e-mail：houjin@hm-shakyo.or.jp

(受付時間は平日 9:00 ~ 17:00 です。)

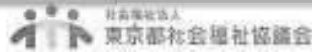
地域共生社会の実現に向けて
すべての地域住民とともに地域の課題に取り組みます。

推進協が目指すもの

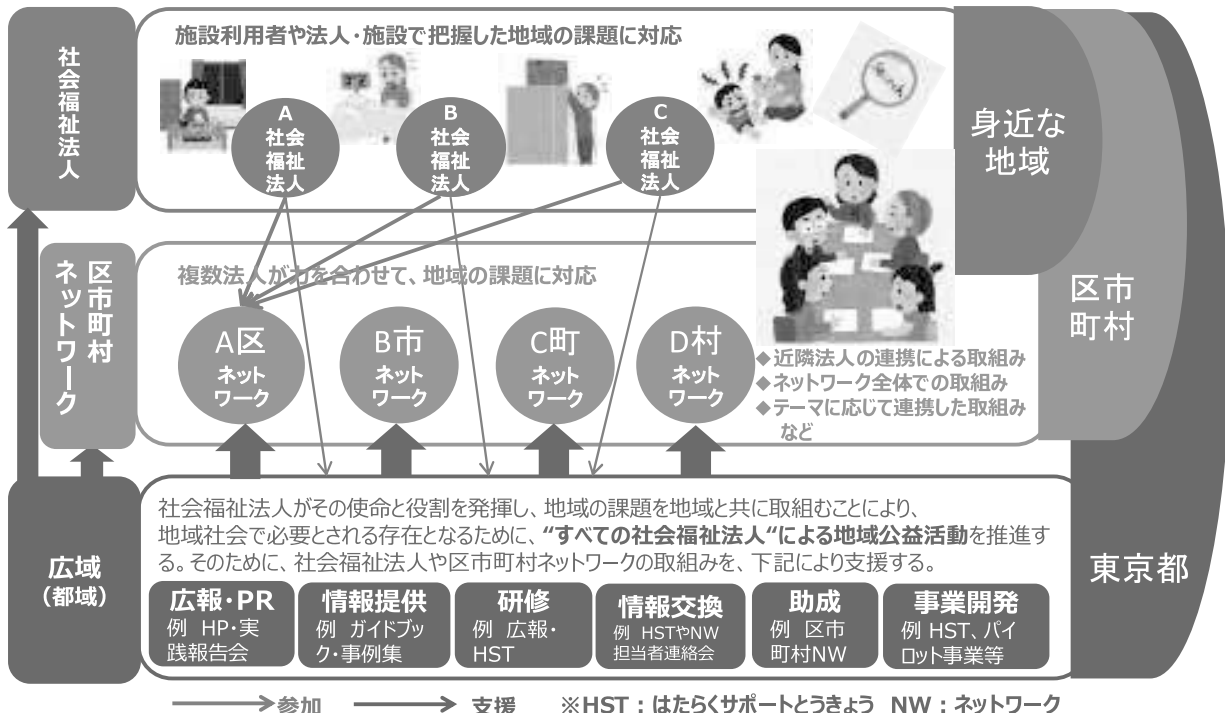
社会福祉法人がその使命と役割を発揮し、
連携・協働して、地域の課題に対応することにより、
“地域で輝く社会福祉法人”となることを目指します。

そして、有望な人材を惹きつけ、やりがいをもって育てることにより、
将来にわたって、
安定的に質の高い福祉サービスや事業を提供し続け、
今以上に地域社会から必要とされ、
共に生き、共に創る存在となるために、

“すべての社会福祉法人”による地域公益活動を推進します



東京都内における地域公益活動推進体制 3つの層の役割と活動



『広域ネットワーク』としての推進協の役割と事業

方針

- ① 3つの層の取組みの情報発信・見える化を行う
- ② 区市町村ネットワーク (NW)の取組みを推進する
- ③ 人材確保・育成・定着につなげる取組みを行う

役割 1 広報・PR

ホームページや実践発表会などを通じて、社会に情報発信して、社会福祉法人の取組をアピールします。

【事業】

- ◆ ホームページの更新・充実
- ◆ 実践発表会・研修の実施
- ◆ ブックレット等の作成
- ◆ 福祉関係学校・マスコミ等への周知
- ◆ 東京都福祉人材センターとの連携

役割 2 区市町村NW支援

区市町村ネットワークへの事務費・事業費の助成、事業開発したメニューの提示・支援等を通じて、ネットワークの組織化と事業実施を支援します。

【事業】

- ◆ ネットワークへの助成
- ◆ 関係者連絡会による情報共有
- ◆ ネットワークで取組む事業メニューの開発提示による新たな事業のモデル実施支援

役割 3 事業開発

社会福祉法人や区市町村ネットワークで取組む事業メニューを開発し、提示します。また、そのための研修や情報共有の場づくりを行います。

【事業】

- ◆ はたらくサポートとうきょうの実施
- ◆ 研修の実施
- ◆ 実践ノウハウの情報交換
- ◆ 新たな事業メニューの検討と区市町村ネットワークと連携したモデル事業実施

連携

日本福祉協会
東京都社会福祉協議会

推進協の会費(～H33)

活動会費を55～60%に減額(基礎会費はそのまま)

No.	区分	現状		改訂	
		基礎会費	活動会費	基礎会費	活動会費
1	2'以下未活		0		0
2	3'以下未活		10,000		6,000
3	4'以下未活	事業所毎	30,000	事業所毎	17,000
4	6'以下未活	6,000円	60,000	6,000円	33,000
5	8'以下未活		100,000		55,000
6	10'以下未活		180,000		90,000
7	20'以上		250,000		140,000

	H30	H31	H32	H33	H34
会費収入	17,586,000	18,113,580	18,658,987	19,218,697	
事業支出	18,324,000	18,724,000	18,924,000	19,124,000	
人件費	7,024,000	7,024,000	7,024,000	7,024,000	
事業費	3,500,000	3,500,000	3,700,000	3,900,000	
事務費	300,000	300,000	300,000	300,000	
助成金事務費	1,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	
助成金事業費	6,000,000	5,400,000	5,400,000	5,400,000	
収支差額	-738,000	-610,420	-267,013	92,697	

※経過期間中の不足額は、繰越金(1400万円程度)から充当する。

【会費について】

- 会費については、活動会費を約55～60%に減額し、年度の収支バランスを図る。
- 区市町村ネットワークへの事務費助成については、1地区5万円×50地区を想定した金額(250万円)を設定。事業費助成については、年18地区(1地区30万円)分の助成額の予算を確保。
- 繰越金については、社会福祉法人や区市町村ネットワークで取り組む事業開発のためのプロジェクトやモデル事業実施、収支差額の一時的不足などに限定的に充てる。
- H34年度以降は、区市町村ネットワークで取り組む事業にかかる経費は各ネットワークでの確保を目指し、区市町村ネットワークへの事業費助成金については、新規事業や先駆的開拓の事業を中心に絞り込み助成する方向とする。

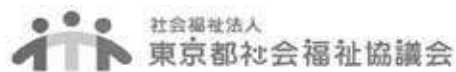
※H30の会費から適用する。

34年度に向けて

- ◆ 東社協会員 社会福祉法人・事業所 全加入の組織とする。
- ◆ 会費は、東社協会費に上乘せし、事業所単位とする。
- ◆ 区市町村ネットワークで取組む事業経費は各ネットワークで確保する。
- ◆ 区市町村ネットワークと推進協の連携を強化する。

日本福祉協会
東京都社会福祉協議会

発行：令和2年10月



東京都地域公益活動推進協議会

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸 1-1

TEL：03-3268-7192 FAX：03-3268-0635

E-mail：tky-koueki@tcsw.tvac.or.jp

URL：<https://www.tcsw.tvac.or.jp/koueki/>

▼ホームページ QRコード

